

## 福島県福島市にて、福島市子育てアプリ『えがお』(母子モ)からの 妊娠届申請率が99%超!

### ～妊娠届のデジタル化で住民・自治体双方の負荷を軽減し、利便性向上へ～

母子モ株式会社(以下、母子モ)は、福島県福島市(以下、福島市)へ、母子モが運営する自治体の子育て関連事業のデジタル化支援サービス『子育て DX®<sup>※1</sup>』を提供しており、2024年7月より「質問票サービス」を活用した妊娠届の提出にアプリを用いることで、保護者や自治体職員の負担軽減を図っています。

今回、福島市子育てアプリ『えがお』(『母子モ<sup>※2</sup>』)から妊娠届を申請する割合を調査した結果、2024年度(2024年7月1日から2025年3月31日まで)の申請率は99.5%、2025年4月1日から2025年11月30日までの期間の申請率は99.9%となり、多くの妊婦に利用されていることがわかりました。

#### 1. 妊娠届の申請をオンライン化し、妊婦や自治体職員の負担を軽減!

福島市では、デジタルを活用した子育て支援策として2019年8月から母子手帳アプリ『母子モ』を福島市子育てアプリ『えがお』として導入しています。また2024年5月には母子健康手帳交付時の面談や乳幼児健診の予約が可能な『子育て DX』の「オンライン予約サービス」を、同年7月には、妊娠届のオンライン提出が可能な「質問票サービス」を提供し、子育て世帯の負担軽減および利便性向上を推進してきました。

今回、妊娠届の申請方法について調査した結果、「質問票サービス」を利用して福島市子育てアプリ『えがお』から妊娠届を申請している割合は、2024年度(2024年7月1日から2025年3月31日まで)にて99.5%、2025年4月1日から11月30日までの期間にて99.9%に上ることがわかりました。

アプリによる事前申請により、窓口業務における手続きがあらかじめでき、母子健康手帳交付にかかる準備時間が約90%削減されています。また、個々の状況を事前に把握し面談に臨めるため、面談の質向上や窓口業務の効率化にもつながっています。

利用者は窓口で書類を記入する必要がなくなり、体調の変化の多い妊娠中でも自身のタイミングで無理なく申請が可能なほか、手続きの待ち時間の減少にもつながっています。さらに、アプリを通じて妊娠初期から市の子育て支援情報に触れることができます。

母子モと福島市は、今後も、子育て世帯のさらなる利便性の向上と、子どもを産み育てやすいまちづくりを目指していきます。

#### 2. 妊娠届の電子申請実績と成果

【電子申請の実績数値】調査期間:2024年7月1日～2025年3月31日/2025年4月1日～11月30日

●福島市子育てアプリ『えがお』からの申請率:99.5%/99.9%

調査方法・件数:上記期間での妊娠届の申請総数1,049件/811件を分母、うち電子申請数1,044件/810件を分子として算出

【電子申請の実施による効果と業務改善】調査期間:2024年7月1日～2025年11月30日

- 事前に窓口対応の手続きができることで、1人あたりの母子健康手帳交付準備を10分から1分に削減
- 事前準備により当日の窓口業務が軽減され、1人あたり30分～1時間かかっていた対応時間が平均20分短縮
- 事前準備により面談の質が向上

調査対象・件数:上記期間での福島市子育てアプリ『えがお』からの妊娠届出数1,854件

#### 3. 母子モ株式会社について

・代表者:代表取締役社長 荻田 貴光

・所在地:東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー35階

・事業内容:ヘルスケアに関するコンテンツ配信事業

※1『子育て DX』:自治体の子育て関連事業のオンライン化を支援するサービス <https://www.mchh.jp/boshimo-kosodatedx>

※2『母子モ』:母子健康手帳の記録から地域の情報までを携帯で簡単にサポートする母子手帳アプリ <https://www.mchh.jp>

※『子育て DX』は母子モ株式会社の登録商標です。



報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ 広報部 母子モ広報担当

TEL:03-5333-6755 E-mail:mtipr@mti.co.jp